

出席報告

高田 進 委員長

- 5月19日：金丸新入会員の入会により会員数41名、ホームクラブ出席者21名・メイクアップ1名・欠席数18名、出席率84%
- 5月24日：ホームクラブ出席者13名・メイクアップ3名・欠席数25名、出席率57%
- 6月2日：ホームクラブ出席24名
本日の出席は25名



ゲスト挨拶

R | 2500地区第6分区

ガバナー補佐 川田 章博 様
セクレタリー 奥 敏則 様

1年間皆様には大変お世話になりました。特にIMにも沢山来ていただきましてありがとうございます。1年間で振り返ってみると、あっという間でしたけれど、今ちょうど第4コーナーを回って自分にムチを入れながら全クラブ回らせていただいています。ガバナー補佐をやってみて爽やかな気持ちになれたのは、どのクラブにいても温かく迎えていただき、ロータリーは本当にいいところだと改めて思えたことです。皆様のおかげで、1年間成長できたかはわかりませんが、確実に全く知らなかったロータリーのことにしては大幅に成長したと自分で思っております。本日お話ししたいのは、ガバナー補佐の選出について、2002年から今日まで郡部クラブでガバナー補佐をしていただいたのは2回しかありません。私の後は、何とか郡部クラブにガバナー補佐をお願いしたいと思っておりましたが、どのクラブも人材面や財政面などの諸事情を抱えておまして、結局は、帯広南RCの白岩さんをお願いすることになりました。ガバナー補佐とIMがセットになっていますので、ガバナー補佐の選出は難し面がありますが、今のままでは帯広だけがガバナー補佐を選出しIMを開催することになりそうだったので、市内クラブと地方クラブがジョイントしてガバナー補佐の選出並びにIMの開催ができる「申し合わせ事項」を提案し、会長・幹事会で異論がなかったことから、今後の紳士協定としてご理解をお願いいたします。



プログラム

米山記念奨学委員会

神田 委員長

「米山記念奨学会について」

上野 敏郎 会員

本日は、自分なりに米山奨学会というよりも「米山梅吉」氏の精神というものをお話ししてみようかなと思っております。米山梅吉氏は若くしてアメリカに渡って、8年間様々な経験を経て日本に戻って来ます。英語を活かそうと思って日本鉄道会社に入り、その後、銀行家になり議員になりとある意味華々しい舞台の中で活躍されてきました。



米山奨学会が継続されてきたのは、米山氏の考え方とそれに基づく行動というものがロータリアンに広く理解され、受け継がれているからだと思います。通常、ボランティア活動というものは、始まりは「情け」や「宗教」・「施し」というところですが、米山氏の考え方は違って、米山氏は2人のお子さんを若くして亡くされています。その経験そのものがその後の人生に大きな影響を与えたのではと思っています。

米山氏が具体的に何をしてきたかという、例えば羊毛の普及のためニュージーランドから5千頭の羊を輸入し農家に飼っていただく。又、がん治療に必要なラジウムをベルギーから取り寄せるなど、その発想・取組が公益に合致するものでした。特に米山奨学会は若い学生を応援していますが、米山氏は特にアジアの留学生に対して、無名で多額の援助をしてきており、そのことを後から続くロータリアンが仕組みとして創り上げたことは、正に英知であると思っています。

◎閉会宣言

加藤 昭治 副S A A

◎点 鐘

西田 重人 会長

次週プログラム予定

6月16日(火)「一年を振り返って」(理事会)
「臨時総会」